

4

**みんなで作る  
安心なまち**

## ① 消防・救急体制の充実

### 緊急用ヘリポートの整備

544万円

(担当：災害対策事務局)

山間部の徳富区は救急活動に時間を要することから、救急医療の拠点として「吉野緊急用ヘリポート」を整備し、ドクターヘリとの連携の強化を図りました。

#### 【整備概要】

ドクターヘリの離発着に必要な26m×23mの舗装エリアとヘリが上空から風向や風速を確認するための吹流しを整備しました。

#### 【ドクターヘリとは】

救急医療に精通した医師・看護師をできる限り速やかに現場に派遣し、一刻も早い初期治療を開始するための「救急医療専用ヘリコプター」です。

機内には救命救急に必要な医療機器や医薬品が常備され、操縦士、整備士、医師、看護師が搭乗します。



### 滝川地区広域消防事務組合負担金

1億7937万円

(担当：総務課総務グループ)

消防組織の維持充実には多額の費用が必要となるため、本町は、滝川市、雨竜町とともに滝川地区広域消防事務組合（一般事務組合、平成26年度からは芦別市と赤平市が加入）を設置し、その運営費を各市町で負担しています。

主な支出は、消防職員の人件費、消防署庁舎の維持管理費、消防団の運営費、消火栓などの消防施設の整備更新、消防車両の維持管理、救急救助資機材の経費などがあります。

平成25年度は第2分団（花月地区）の消防ポンプ車をタンク車に更新しました。



## ② 防災体制の充実

### 排水機場の管理

797万円

(担当：建設課土木グループ)

大雨による石狩川の水位上昇により、堤防内(私たちが住んでいる側)の河川の排水機能がストップした時に、ポンプで強制的に排水する施設が町内に7カ所あります。

万が一の水害に備え、いつでも迅速に施設を稼働できるように、水防団員による設備の設置訓練を行うとともに、機器の点検・運転や施設周辺の草刈りを行いました。

#### <財源内訳>

国の補助金	183万円
道の補助金	234万円
浦臼町の負担金	40万円
町の負担	340万円

### 防災無線の管理

295万円

(担当：建設課土木グループ)

防災行政無線は、皆さんへ速やかな情報伝達と情報共有が図られるよう、平成9年度から運用しています。

施設の機能を維持するため、保守点検を行うとともに、町内に8カ所ある屋外拡声装置のうち、4カ所の更新を行いました。



4

### 地域防災力の強化

119万円

(担当：災害対策事務局)

いつ起こるか分からない災害に備えるため、住民や町職員の意識の高揚と体制整備を進めました。

#### ○皆さんに対して

- ・災害発生時に地域のリーダーとして活躍できる人材の育成を図るため、「防災士」の資格取得者10人に対し研修費用の全額を助成しました。
- ・住民と各行政区に配置した町職員からなる地域サポーターが一体となり、災害が発生したことを想定した図上訓練を行いました。

#### ○町職員に対して

- ・東京にある消防大学校において、自主防災組織の育成に必要な知識や能力を修得するための研修に参加しました。
- ・災害時における職員の初動対応についての研修を行いました。

#### <財源内訳>

加盟団体からの負担金	30万円
町の負担	89万円

### 災害復旧調査・工事

2751万円

(担当：建設課土木グループ)

9月4日から5日にかけての豪雨により、町内の道路や河川、林道などが被害を受けました。

被災した施設を従前どおりに復旧するため、調査測量を行い、復旧工事を行いました。

#### 【道路・河川の災害復旧事業】

- 北4号線単独災害復旧工事(道路法面復旧) 延長12m
- 栃谷川災害復旧工事(河岸復旧) 延長11m
- 奥幌加沢川支流復旧工事(河岸復旧) 延長20m

#### <財源内訳>

国の補助金	860万円
町の負担	1891万円

### ③ 生活安全体制の充実

#### 中央地区市街地街路灯の更新・新設 5752万円

(担当：住民課住民活動グループ)

国道275号沿線にある街路灯は、老朽化により機能低下しており、また未設置区間もあることから、省エネ性能が高いLED灯に更新および新設し、安全安心の明るい町づくりを推進しました。

本事業は平成24年度から3カ年計画で進めており、平成25年度は、菊水区、中央区、文京区、青葉区内の50基を更新し、5基を新設しました。

<財源内訳>

道の負担	2870万円
地元負担	9万円
町の負担	2873万円



#### 安全・安心推進協会の支援 112万円

(担当：住民課住民活動グループ)

町内の交通安全や防犯のために活動する新十津川町安全・安心推進協会へ助成しました。

安全・安心推進協会は、青色回転灯防犯パトロールによる町内巡回や各季の交通安全運動での街頭啓発などを通じ、本町の安心で住みよいまちづくりに貢献しました。



#### 消費生活問題の解決 146万円

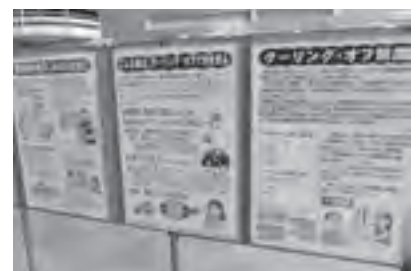
(担当：住民課住民活動グループ)

消費生活トラブルの相談窓口を設け、皆さんからの相談に応じ、解決策を提案しました。

また、インターネットの架空請求やオレオレ詐欺、悪質な住宅リフォームなど、複雑なトラブルに関する相談に迅速に対応するため、滝川地方消費者センター（0125-23-4778）にも相談業務を委託しました。

<財源内訳>

道の負担	114万円
町の負担	32万円



事業名	決算額	実施概要
防災体制の充実		
樋門樋管の管理	76万円	北海道から委託を受けた樋門54カ所の管理を行いました
河川の維持管理	656万円	町管理河川の保全や河川愛護組合の活動を支援しました
河川環境整備促進事務	2万円	道管理河川の整備を促進するための活動を行いました
徳富川ラブリバー推進協議会の支援	13万円	河川環境保全活動を行っている団体へ支援しました
融雪出水災害の防止	56万円	春季に雪でふさがった河川の雪割りを行いました
道市町村総合事務組合負担金	26万円	水防団員が活動中に被った災害のための保険に加入しました
災害用備品の管理	68万円	衛星携帯電話の更新や災害用ベストを購入しました
防災センターの管理	10万円	除草剤散布など、施設の管理を行いました
災害救助物資の備蓄	13万円	保存期限が近づいた備蓄品（缶詰やカレー）を更新しました
生活安全体制の充実		
交差点照明の更新	210万円	交差点照明2基をナトリウム灯からLED灯に更新しました
交通安全の推進	140万円	交通指導車と交通安全指導員の活動費を支出しました
中央地区市街地街路灯の管理	266万円	中央地区に設置している街路灯の管理費を負担しました